

We can do it! ~ わたしたちで創る 最高のストーリー ~

10月13日(金)に令和5年度荒尾第三中学校文化発表会を行いました。吹奏楽部のステージ演奏や2年生と3年生の総合的な学習の時間のまとめ発表の後に、合唱コンクールが行われ、各クラスが練習を重ねてきた合唱を披露しました。



(吹奏楽部ステージ演奏)



(3年生・進路選択、夢実現)



(2年生・職業、生き方調べ)



(合唱コンクール)



また、体育館には3年生が作成した見事な大点描画も飾られました。大谷翔平選手のバッティングの横には、三中生がグループ学習をしている様子、その上には校門から見た三中の風景、そして中央の校章の両側に「青春、～今日を精一杯～」というメッセージが書いてありました。



(3年点描画)

保健室前には、「元気のおすそわけ」と書かれた生徒一人一人からのメッセージが書いてありました。「悩んだり、落ち込んだり、悲しい気持ちでいるとき、ちょっと元気をもらえる曲や歌詞、セリフや誰かの言葉等・・・そんなあなたのパワーソング、パワーフレーズをみんなで共有して、元気を少しずつおすそわけ♡」と保健委員会が紹介していました。



福祉委員会を中心とした「ふれあいボランティア」「花のみちプロジェクト」「夏休み高齢者ボランティア」の取組の写真や取組の様子、感想も充実していました。



たまなあらおちゅうたいれんえきでんきょうどうたいかい 五名荒尾中体連駅伝競走大会

10月18日(水)に横島町干拓コースを
会場として開かれました。この大会は中体

連で唯一、学校全体の生徒に呼びかけて学校対抗で行われる大会です。感染症罹患者増加のため、選手が走れずにやむなく棄権しなければならなかった学校もありましたが、当日は鮮やかな秋晴れのもと、オープンチームまで含めて、男子19チーム、女子17チームで競技が繰り広げられました。

本校では陸上競技部だけではなく、学校全体の生徒に呼びかけて希望者等を中心に夏休みから約3ヶ月間の練習を重ねてきました。毎日練習を重ねることで、個々の競技力が伸びるだけではなく、チームとしての結束力が高まっていくことも伝わってきました。

そして、緊張の中にも、掲げた目標達成を目指して凜とした決意が各選手や補助員から伝わってきました。そして、10時30分女子スタート。11時40分男子スタート。あまりに天気が良すぎたために、多くのチームで記録が伸び悩みましたが、選手の皆さんは、攻める、挑戦する姿勢で走り、タスキを繋ぎました。

結果は、女子が優勝、男子が5位、オープン参加の男子チームも記録的には15位の記録と同じ結果で健闘しました。

競技ですので、勝ち負けがつき記録が分かります。果敢に挑戦した結果、満足できた人も、そうでない人もいましたが、監督等から次のような話がありました。

今年、初めてこの駅伝に参加した人もいますが、去年の中体連駅伝が終わり、悔しい思いを心に留めて、翌日から今日のこの大会に向けて練習を積み重ねた人もいます。当然、陸上だけでなく中学生は勉強も、家の手伝いもいろんな事をやらなければなりません。いろんな事をやりながら、練習を続けた皆さんは本当にすごいと思います。誇りに思います。

女子は優勝という結果につながりましたが、男子は5位という結果に悔しい思いをしている人が多いと思います。しかし、下を向くことはありません。堂々と顔を上げて次を見据えてください。玉名荒尾の強いチームに勝つためには、最初から突っ込んで積極的に走るレースをするしか可能性はありませんでした。果敢に走り抜いた結果です。堂々と顔を上げてください。

挑戦し続ける人は必ず目標や夢をつかみ取れると先生は思っています。3年生は進路選択が間近になりましたが、この駅伝で身に付けた挑戦する意思と実行力、継続力で、次の目標を達成させてください。

そして、皆さんが練習のできる環境を作ってくださった保護者の皆さまや地域の陸上関係の人たち、他の先生方にしっかり感謝してください。今日は感動をありがとうございました。



(思い出の記念写真)



(閉会式)



(監督等からの感謝のメッセージ)